

第 17 回スキー合宿報告

1. さらば鰯ヶ沢

振り返ると、合唱団スキー合宿は 2008 年に始まり、ずっと鰯ヶ沢スキー場のゲレンデ(雪質、様々なコース)とホテル(雪見露天風呂、豪華な料理)、時に下界(津軽三味線、五所川原立佞武多、鰯ヶ沢相撲館～舞の海ふるさと栈敷～、ストーブ列車、弘前城)を楽しんできました。コロナでの1回見送りがあひながら、なんと16回も。ところが、近年、宿泊ホテルの娯楽設備(麻雀室、カラオケ、ジム)がなくなり、料理水準が低下してきました。さらに、パック料金も値上げ。長らく、往復飛行機とバス、ホテルタ朝食付き2泊3日、全リフト券付きで概ね6万円弱でした。2023 年の 59,700 円が、2024 年に突然 69,500 円になり、かつリフト券が半日分付かなくなったためさらにプラス 3,700 円。スキーレンタル料も高くなりました。

2025 年の合宿にあたり、岡本幹事が調べた際にはウェブサイトにて 82,500 円との表示。去年より 13,000 円アップ。コメも上がり、円安だし、しょうがないかなあと思ってました。

で、11月にいざ申込みを、と思ってサイトを見たら、なんと 110,800 円。え、なんで？シーズン中に値段変えるの？、しかし隣の八甲田スキー場は前のまま6万円台。つまり、JAL ではなく「ホテル」の独自値上げと判明。これは許せない。仲良くしてくれた瓜田さんご夫妻にも申し訳ないけど、鰯ヶ沢とはお別れとなりました。

2. 天空の清里

佐藤さんの提案で、八ヶ岳南麓のサンメドウズ清里スキー場に行くことにしました。横浜市内から乗用車で4時間弱、人工雪だけど雪質は良いとのこと。9人が乗用車3台に分乗し出かけました。スキー場が近づいてきたら、耳がツン。飛行機で感じる高度の変化、あとでわかったけど、このスキー場、リフト乗り場の標高が 1610m、長いリフト終点が標高 1880mなのでした。これだけ高めりゃ寒いはず。そして全国的な大寒波。いつもよりも休み時間の回数を増やして、滑ることになりました。



富士山を背に

3. 佐藤スキー学校

西山さんの連れの小濱さんはスキーはしないということで、生徒7人は佐藤教授の丁寧な指導を受けました。樺太生まれ北海道育ちの特待生西山さんは、一人で滑ったり、合流したりしましたが一般生徒6人(岡本さん、野本さん、近藤さん、大和さん、倪さん、山路)はずっと指導を受け、みな大幅に上達したのではないかと思います。

スキー板は少し幅広に平行に、膝を入れ、少し前傾し、谷足荷重、自分から曲げに行かず自然に回転するのを待つ、こういう滑りを目指しました。



4. どこか似ている

(佐藤教授)回転するときは、スキーの先を見るのではなく、滑り降りる谷の方、遠くを見て下さい。

(某キャプテン)練習の時は、譜面を見ないで、前を、指揮を見て下さい。

(佐藤教授)カービングスキーの回転は、膝を曲げるのではなく、足首を少しだけ曲げて。このように滑って下さい。

(某キャプテン)声は、このように出してください。

5. 名言

佐藤スキー教室では、教授が先に 200m ほど滑り降りて、下から合図して、一人一人順番に滑り降りて、教授に講評して貰います。その順番は、何となく決まってましたが、ある時、教授から「最初にどうぞ」と言われた某生徒。少しためらったあと「合唱団でソロは歌えませんが、この滑りは頑張ります。」と。座布団3枚。

6. オールインクルーシブ

初日に半日滑ったあと、予約していたホテルにチェックイン。ロビーにお客さんが大勢いて、飲んだり食べたり話したり。座る席もない。なんと、ウェルカムドリンクが生ビールはじめアルコールいろいろ、ソフトドリンク多種、おつまみ少々、みんな楽しんでいるのです。夕食時、いつもなら最初に集めた軍資金で

ビールを注文するのですが、夕食会場にセルフ生ビールサーバーはじめ、何でもあり。料理も多種多様、4回の食事で、一通り食べることは叶いませんでした。

食事に加え、デザートも充実していました。小さなお子さんが大勢いて、みんな大喜び。我々も、自分で焼くクレープ、焦がしシュークリーム、いちごモンブラン、自作ソフトクリームなど、楽しみました。あとでわかりましたが、小学生未満は、料金無料だったのです。それでもペイするオールインクルーシブ。人件費を抑え、中身で勝負なのですね。



7. スキー場でゴルフ講習会

2晩目の7時からゴルフセミナーがオンラインであると、トレーニングマスターの櫻井さんから聞いていたため、昼食を早めにすませ、Zoom を客室テレビに映して、勉強会。約80分間、マジメに聞き、時折身体を動かしました。スキー合宿でスキーだけでなくゴルフの上達ヒントを得るなんて、なんてお得。

8. 健全な夜

ゴルフ講習会が終わって、さあ飲もうか、となるはずが、みなさんサササと自分の部屋に。差し入れの森伊蔵に誰も手を伸ばさず。酒量減退なのか、昼間の疲れなのか、健全な夜になりました。私もオオタニほどではないですが、よく眠りました。

＜以上文責：山路でした。＞